

令和 3 年度 (下半期) 淀川管内河川レンジャー活動報告

令和 4 年 2 月 2 2 日

福島出張所管内河川レンジャー

平井 裕三 (11 期生:4 年目)
桑村 和男 (14 期生:試行)
森 幸治 (14 期生:試行)

毛馬出張所管内河川レンジャー

伊藤 茂 (12 期生:3 年目)
岸田 俊徳 (15 期生:試行)
谷口 正子 (15 期生:試行)

河川レンジャーアドバイザー

辻川 松子
池宮 實
亀井 伸幸

目 次

○平井河川レンジャー活動報告	1
1. 河川清掃活動	・ 令和3年10月23日(土) 1
○桑村河川レンジャー活動報告	3
2. 淀川歴史まち歩き3 淀川区～北区	・ 令和3年11月21日(日) 3
○森河川レンジャー活動報告	6
3. 庭窪水害防災講座～ハザードマップとマイ・タイムラインを用いて～	・ 令和3年11月28日(日) 6
○伊藤河川レンジャー活動報告	8
4. 淀川自然体験昆虫(バッタのオリンピック)	・ 令和3年10月10日(日) 8
5. 区民カレッジ マイ・タイムライン	・ 令和4年2月7日(月) 10
○岸田河川レンジャー活動報告	12
6. 淀川名人養成講座ークロベンケイガニ編ー	・ 令和3年10月17日(日) 12
○谷口河川レンジャー活動報告	14
7. バッタのオリンピック(太子橋地区)	・ 令和3年10月24日(日) 14
○辻川河川レンジャーアドバイザー活動報告	16
8. 大阪市立新北野中学校わがまち防災スクール P-1	・ 令和3年10月7日(木) 16
9. 大阪市立新北野中学校わがまち防災スクール P-2	・ 令和3年10月8日(金) 19
○池宮河川レンジャーアドバイザー活動報告	21
10. 大阪市環境局講座「淀川の環境改善の取り組み」	・ 令和3年10月9日(土) 21
○亀井河川レンジャーアドバイザー活動報告	23
11. 大阪市立豊崎中学校防災訓練	・ 令和3年11月20日(土) 23
○連携活動報告	25
12. ワークショップ(川の大切さを知ろう)	・ 令和3年10月23、24日(土、日) 25
13. 鳥飼ワンド外来植物駆除大作戦	・ 令和3年11月7日(日) 27

○平井河川レンジャー活動報告

1. 河川清掃活動

・令和3年10月23日(土)

実施状況

活動名	河川清掃活動			
氏名	平井 裕三 (福島出張所管内河川レンジャー)			
運営形態	主催			
活動日時	令和3年10月23日(土)			
実施場所	新御堂筋高架橋下の側道部および淀川河川公園西中島地区			
参加対象	企業：株式会社 フロンティア			
参加人数 および 団体名	参加総数	16名		
	参加者	14名	大人 14名	
	講師	—		
	スタッフ	1名	桑村 R	
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	—
			準備のみ	—
		行政 機関	当日	—
			準備のみ	—
学校 関係	当日	—		
	準備のみ	—		
	淀川河川事務所	—		
	河川レンジャー事務局	1名		
スケジュ ール	10:00	開始		
		<ul style="list-style-type: none"> ・平井 R より本日の活動内容の説明およびコロナにおけるセーフティトーク ・株式会社 フロンティア 堀越取締役からのご挨拶 		
	10:05	・新御堂筋高架橋下の側道部のごみ拾い開始		
	10:30	・河川敷 (西中島河川公園における監視道路及び緊急道路) のゴミ拾い開始		
11:00	終了			
配付資料	—			
関係機関からの 支援内容	—			

河川レンジャーの活動内容	準備	火ばさみ・軍手・ゴミ袋などの用意
	当日	事前準備
	事後	ゴミの処分
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ○河川敷のゴミが少なかった。 ○普段河川敷に行かないので知らないことばかりだった。 ○河川敷の木は伐採しないといけないことを知った。

活動状況



活動内容の説明



高架橋下の側道部分のゴミ拾い



河川敷における監視用道路のゴミ拾い



収集したゴミ

○桑村河川レンジャー活動報告

2. 淀川歴史まち歩き 3 淀川区～北区

・令和3年11月21日(日)

実施状況

活動名	淀川歴史まち歩き 3 淀川区～北区			
氏名	桑村 和男 (福島出張所管内河川レンジャー)			
運営形態	主催			
活動日時	令和3年11月21日(日)			
実施場所	JR塚本駅からスタート 			
参加対象	地域住民			
参加人数 および 団体名	参加総数	10名		
	参加者	7名	大人7名	
	講師			
	スタッフ	2名	道場 R、谷口 R	
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	—
			準備のみ	—
		行政 機関	当日	—
	準備のみ		—	
学校 関係	当日	—		
	準備のみ	—		
	淀川河川事務所	—		
	河川レンジャー事務局	1名		
スケジュール	9:45 開始 (塚本駅前公園) ・コース説明 ・注意事項説明 ・簡易体操 9:45 塚本駅前公園を出発 9:50 下十三橋梁の解説 9:55 旧中津川 (左岸) に沿って歩く 10:20 塚本如来塚着、解説、休憩 10:45 成小路神社：神社は、元は鷺島神社という名前であった。このあたり一体が成小路村であり、そこから名前がついた。 10:50 圓称寺 淀川改修記念碑の解説、トイレ休憩 11:20 淀川河川敷に到着 堤防天端で、河川用語の解説 (堤内、堤外) ・河川用語解説 (右岸・左岸、堤外地・堤内地、大阪湾最低潮位 O.P. 他) ・淀川の水位の調べ方 (淀川河川事務所ホームページの案内)			

	11:50	新北野ヨシ原再生地、新北野船着場 ・ヨシの再生について解説、樹木の伐採について解説 ・緊急用船着場の役割、十三に新たに建設中であることを紹介 ・十三干潟やこのエリアで見ることができる生き物の紹介
	12:20	十三渡し跡 ・十三の名前の由来について 十三大橋を渡って右岸側へ移動
	12:40	休憩 淀川左岸線（2期）工事について解説
	13:00	富島神社 淀川記念碑の解説
	13:25	阪急中津駅前の公園・活動後の注意事項（コロナ対策）説明、挨拶等
	13:30	終了
配付資料		①まち歩きコース説明・地図 ②淀川の歴史と治水の話（1） ③淀川改修下流部比較法線入平面図 ④河川用語の豆知識（1） ⑤守ろう淀川！ゴミ不法投棄をゼロに！パンフレット ⑥ヨシの移植について ⑦淀川の緊急用船着場・緊急用河川敷道路ガイドマップ ⑧淀川左岸線（2期）パンフレット
関係機関からの支援内容		・淀川河川事務所より上記配布資料⑤、⑥、⑦、⑧を準備していただく 特に⑥のヨシの移植については今回のまち歩きのために作成していただいた ・圓称寺にて、トイレを借用させていただいた
河川レンジャーの活動内容	準備	・活動計画の立案 ・コースの下見（10月15日、11月20日）、圓称寺挨拶 ・広報チラシ作成（10月17日） ・広報活動 河川レンジャーのホームページに掲載、チラシ配布 ・使用備品の準備 ・説明資料の作成
	当日	・参加者の確認、資料配布、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について説明、消毒、検温、健康チェックの確認、準備体操 ・まち歩きしながらポイントで説明 ・淀川歴史まち歩きの感想のアンケート依頼・回収 ・コロナ対策で帰宅後、うがい、手洗いを呼びかける。
	事後	淀川河川事務所福島出張所に報告とお礼、スタッフ協力のレンジャーにお礼 活動報告書作成
参加者からの意見		アンケート（回収100%） 【感想】 面白かった：5人、ふつう：2人 【興味をもった項目（複数回答）】 ・成小路神社、圓称寺、富島神社の淀川改修記念碑等 6人 ・新北野のヨシ原再生 4人 ・淀川左岸線工事 3人 ・淀川の船着場 2人、 ・下十三川橋梁 2人 【意見】 ・初めての経験楽しかったです ・こんないろいろ歴史があることを知って楽しかったです ・今日はちょっと歩きすぎ

活動状況



コースの説明



川ごみの問題について説明



新北野 ヨシ原見学



淀川左岸線2期工事の説明

○森河川レンジャー活動報告

3. 庭窪水害防災講座～ハザードマップとマイ・タイムラインを用いて～・令和3年11月28日(日)

実施状況

活動名	庭窪水害防災講座 ～ハザードマップとマイ・タイムラインを用いて～				
氏名	森 幸治 (福島出張所管内河川レンジャー)				
運営形態	共催				
活動日時	令和3年11月28日(日)				
実施場所					
参加対象	地域住民				
参加人数 および 団体名	参加総数	22名			
	参加者	17名	大人17名、子ども0名		
	講師	—			
	スタッフ	2名	道場 R、山本 R		
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	—	
			準備のみ	—	
		行政 機関	当日	2名	庭窪コミュニティセンター職員
			準備のみ	—	
学校 関係	当日	—			
	準備のみ	—			
淀川河川事務所	—				
河川レンジャー事務局	1名				
スケジュール	10:00	開始 庭窪コミュニティセンターより開講の挨拶等			
	10:05	①水害のメカニズムを学ぶ ・守口市の特性と近年の風水害 ・水害のメカニズム 破堤、内水氾濫等			
	10:20	休憩			
	10:30	②ハザードマップを見る ・守口市ハザードマップ、淀川浸水継続時間図等をもとに、「ハザードマップで調べて考えよう」ワークシートへ記入			
	10:55	休憩			
	11:00	③マイ・タイムラインの作成 ・各人でマイ・タイムラインを作成 ・グループ討議			
	11:30	全体の意見交換、まとめ			
	11:45	終了			

配付資料	当日の講座の水害に関する資料、ハザードマップ、マイ・タイムライン作成に必要な資料	
関係機関からの支援内容	資料印刷 参加者名簿作り、広報、会場案内、会場設営	
河川レンジャーの活動内容	準備	資料作成、
	当日 事後	会場設営、適宜資料配布、講座進行、 片付け
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・守口市は被害が大きくて避難先が足りない。 ・ホテルも足りない。 ・避難するタイミングが難しい。 ・自分では判断できない。 ・水害発生するというアナウンスを役所は地域の防災委員に伝えているのか？ 	

活動状況



会場全景



水害のメカニズムについて説明



グループ討議



各グループをレンジャーがサポート

○伊藤河川レンジャー活動報告

4. 淀川自然体験昆虫（バッタのオリンピック）

・令和3年10月10日(日)

実施状況

活動名	淀川自然体験昆虫（バッタのオリンピック）			
氏名	伊藤 茂（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日時	令和3年10月10日（日）			
実施場所				
参加対象	地域住民			
参加人数 および 団体名	参加総数	34名		
	参加者	30名	大人12名、子ども18名	
	講師	—		
	スタッフ	3名	桑村 R、岸田 R、奥平 R	
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	—
			準備のみ	—
		行政 機関	当日	—
			準備のみ	—
学校 関係	当日	—		
	準備のみ	—		
	淀川河川事務所	—		
	河川レンジャー事務局	1名		
スケジュール	10:00	開始	<ul style="list-style-type: none"> ・伊藤 R による本日の活動内容・注意事項の説明、およびコロナにおけるセーフティトーク ・バッタの採集開始 ・バッタの飛翔体験 ・表彰式、 終了 	
	10:15			
	11:00			
	12:05			
	12:30			
配付資料	オリジナルバッタ図鑑			
関係機関からの支援内容	—			
河川レンジャーの活動内容	準備	下見及び借用物の確認		
	当日	テント・ベット、の設置と表彰台とリザルト（競技成績表）の作成		
	事後	撤収と掃除		

参加者からの意見

- ・バッタをとるのがむずかしかった。
- ・バッタとり子どもより大人の方が必死になっていた。
- ・天候が良すぎた。鉄橋の影があり休憩できた。
- ・来年も参加したい。
- ・コロナ禍で野外の活動も出来なかったので楽しかった。

活動状況



受付（コロナ対応）



バッタの採集



バッタの飛翔



表彰式

5. 区民カレッジ マイ・タイムライン

・令和4年2月7日(月)

実施状況

活動名	区民カレッジ マイ・タイムライン			
氏名	伊藤 茂 (毛馬出張所管内河川レンジャー)			
運営形態	協力			
活動日時	令和4年2月7日(月)			
実施場所				
参加対象	団体 (団体名: 区民カレッジ)			
参加人数 および 団体名	参加総数	30名		
	参加者	26名	大人 26名	
	講師	—		
	スタッフ	—		
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	2名 区民カレッジ事務局
			準備のみ	—
		行政 機関	当日	—
	準備のみ		—	
学校 関係	当日	—		
	準備のみ	—		
	淀川河川事務所	—		
	河川レンジャー事務局	2名		
スケジュ ール	13:00	開始		
		河川レンジャーの概要 河川レンジャー事務局		
	13:15	自宅よりオンラインで講演 水害から身を守るためには 水害のいろいろ(外水氾濫、内水氾濫、土砂災害、高潮、(津波)) ハザードマップの見方、チェックシートの作成		
	14:10	マイ・タイムラインを作ろう		
	14:40	動画視聴「水害・土砂災害から身を守るために」国土交通省		
	14:45	分かち合い・質疑応答		
	14:50	アンケート		
15:00	終了			
配付資料	北区ハザードマップ、マイタイムラインシート・避難行動シール式、アンケート、レンジャーニュース 57・58号、川と人、人と人とを結ぶ(マンガ広報)			
関係機関からの 支援内容	レンジャーニュース他配布資料 レンジャー事務局			
河川レン ジャーの 活動内容	準 備	打合せおよびリモート講義の練習		
	当 日	機材の確認と打合せ		
	事 後	アンケートのチェックと振り返り		

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅は大丈夫だと思っていたが、マイ・タイムラインを作って日頃から準備をしておかなければならないことが分かった。 ・避難指示の紙を自分の見えるところに置いておこうと思いました。 ・避難方法の順番をどれからすればよいか、迷いそうです。 ・しまい込んでいるハザードマップを出して、自宅付近を確認しよう。 ・普段から川の様子を見ていよう。 ・どのようなタイミングでどのような準備をすればよいか、判断に困った。 ・浸水継続時間が大きく違いがあることにびっくり。 ・広域避難場所を確かめる。
-----------------	---

活動状況



オンラインで講義を実施



講義の様子



マイ・タイムライン作成



河川レンジャーの活動紹介

○岸田河川レンジャー活動報告

6. 淀川名人養成講座－クロベンケイガニ編－

・令和3年10月17日(日)

実施状況

活動名	淀川名人養成講座－クロベンケイガニ編－			
氏名	岸田 俊徳 (毛馬出張所管内河川レンジャー)			
運営形態	主催			
活動日時	令和3年10月17日(日)			
実施場所				
参加対象	地域住民			
参加人数 および 団体名	参加総数	27名		
	参加者	24名	大人10名、子ども14名	
	講師	—		
	スタッフ	2名	伊藤R、谷口R	
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	—
			準備のみ	—
		行政 機関	当日	—
	準備のみ		—	
学校 関係	当日	—		
	準備のみ	—		
	淀川河川事務所	—		
	河川レンジャー事務局	1名		
スケジュール	9:00	開始 ・クロベンケイガニについての説明 ・淀川についての説明		
	9:30	クロベンケイガニ釣り		
	10:20	クロベンケイガニの観察、説明 河川ゴミについて説明		
	11:00	終了		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物で知る川の健康 ・淀川の干潟にいてみよう ・クロベンケイガニ資料 			
関係機関からの 支援内容	—			

河川レンジャーの活動内容	準備	下見及び借用物の確認、資料の準備
	当日	現地の安全確認、クロベンケイガニの活性状態の確認
	事後	撤収と掃除
参加者からの意見		カニ釣りが難しかった。 カニの飼い方を教えてもらえた。 普段行くことのできない場所での体験ができた。 貴重な体験ができた。

活動状況



受付、説明



クロベンケイガニの解説



家族単位でカニ釣りを実施



クロベンケイガニの観察、特徴解説

○谷口河川レンジャー活動報告

7. バッタのオリンピック（太子橋地区）

・令和3年10月24日(日)

実施状況

活動名	バッタのオリンピック（太子橋地区）			
氏名	谷口 正子（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日時	令和3年10月24日（日）			
実施場所				
参加対象	地域住民			
参加人数 および 団体名	参加総数	32名		
	参加者	22名	大人12名、子ども10名、	
	講師	1名	金子氏（NPO法人 子供と虫の会理事）	
	スタッフ	7名	原 RA、桑村 R、奥平 R 他	
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	-
			準備 のみ	-
		行政 機関	当日	-
	準備 のみ		-	
学校 関係	当日	-		
	準備 のみ	-		
	淀川河川事務所	-		
	河川レンジャー事務局	2名		
スケジュー ール	9:00	受付開始		
	9:30	開会式 あいさつ ルール説明、注意事項説明(谷口 R、金子氏)		
	9:45	バッタ採集開始		
	10:15	採集終了		
	10:20	バッタの見分け方説明、バッタのエントリー（金子氏）		
	10:45	競技開始 バッタの種類ごとに競技		
	11:05	バッタのQA		
	11:10	河川内のごみの話（谷口 R）		
	11:13	メダルの授与式、講評（金子氏）		
	11:35	閉会解散		
配付資料	同定資料（絵ときけんさく）、エントリーシート、アンケート2種			
関係機関からの 支援内容	レンジャー事務局：のぼり、巻き尺、マイク、救急セット、 絵ときけんさくラミネートシート 淀川河川公園管理センター：安全コーン、テーブル、椅子			

河川レンジャーの活動内容	準備	メダル等の作成。 講師との現地見。 物品を毛馬出張所に借りに行く。 当日のために見本用にバッタを十数匹採集。
	当日	スタッフへの説明 準備物の設置。 バッタの採集補助 指定した範囲の場所内でバッタを捕まえられるよう安全確認 バッタの飛行距離・時間の計測 後片付け
	事後	河川レンジャー事務局から借りた物品を毛馬出張所に返却。 アンケートの集計。
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者総じて「大人も楽しかった。」 ・初めて参加しましたが、親子ともどもとっても楽しかった。また是非参加したい。 ・とても楽しめました。虫を捕ることが長い間なかったので、新鮮でした。 ・メダルをもらってうれしかった。 ・バッタを通し河川敷の広々とした自然の中を走り回り、童心にかえることができた。 ・金子先生のバッタの分類・説明がよく分かった。 ・みんなが気持ち良く過ごせるようにごみは持ち帰る大切さを知った。 	

活動状況



ルール、注意事項の説明



バッタの採集



競技開始



河川内のゴミの話

○辻川河川レンジャーアドバイザー活動報告

8. 大阪市立新北野中学校わがまち防災スクール P-1 ・令和3年10月7日(木)

実施状況

活動名	大阪市立新北野中学校わがまち防災スクール P-1			
氏名	辻川 松子 (河川レンジャーアドバイザー)			
運営形態	主催			
活動日時	令和3年10月7日(木)			
実施場所				
参加対象	大阪市立新北野中学校 1年生			
参加人数 および 団体名	参加総数	221名		
	参加者	212名	1年生6クラス	
	講師	—		
	スタッフ	—		
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日 準備 のみ	—
			行政 機関	当日 準備 のみ
		学校 関係	当日 準備 のみ	8名
	淀川河川事務所	—		
	河川レンジャー事務局	1名		
スケジュール	14:30	<p>開始</p> <p>担任代表教諭より本日の目的を説明。</p> <p>辻川 RA より学習内容の説明 (災害や災害時の危機管理について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自己紹介、レンジャーの目的、活動内容について説明 ●パワーポイントを用いて以下について説明 <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害について考える (命を守るための行動として見る、知る、考える) ・自分たちが住むまちの地形、場所について 淀川水系の概要について (淀川と神埼川に挟まれた場所。自然が豊かな淀川) ・地震について 上町断層、生駒断層、有馬高槻構造線、中央構造線、南海トラフについて 上町断層が動くとM7.8~8、上下動M6強~7.5、建物倒壊、火災 南海トラフでは大阪の死者は、最大13万人と予測されている。早期避難の必要性について説明。 ・H30.9.4台風21号の話 (ビデオ動画視聴) 最大風速：大阪 47.4m、関西空港 58.1m、国道2号淀川大橋の高潮の状況(風速が強くなるに従い川が逆流する様子)樹木・トラックの横転、壁の剥がれ、等 		

	14:25 15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・水害について 高潮が起きる現象について。内水氾濫が起きた時外出は危険。 ・河川氾濫について S36年台風では淀川の特設堤を超えて浸水。神崎川が氾濫 ハザードマップをもとに早めの避難が大切。垂直避難の話 等 ・津波の話 新北野中学校周辺地区では淀川が氾濫した場合の浸水深は2～3m 津波避難ビル、避難場所の表示板が各所に設置されていることを説明 ・阪神淡路大震災(H7.1.17)大阪府北部地震(H30.6.18) 火災、マンションの倒壊、学校の塀の倒壊 ・水害から身を守るために(ビデオ動画視聴) 災害が起きた時どのように行動するか、避難レベルについて 自分の命は自分で守る。意識を変える(正しい情報、備蓄、逃げ遅れゼロ、何をすべきかを考える)。自助、共助、公助の話 等 中学生は、避難所でリーダーとして活動してほしい。そのためにも、積極的に地域の防災訓練に参加してもらうよう呼びかけ。 ・災害にあった時は、今日学んだこと、見たこと、知ったこと、考えたことが、一人一人の繋がりとなり、町や人を救うことを知ってほしい <p>担任教諭より本日の話を振り返り、要点を復唱 終了</p>
配付資料		淀川区防災マップ・アンケート
関係機関からの支援内容		中学校より、プロジェクター一式(パソコンは持ち込み)、アルコール消毒液
河川レンジャーの活動内容	準備	新北野中学校・・・授業実施に向けて説明と依頼 河川事務所・・・実施に係る事前調整 淀川区役所・・・資料提供の依頼 レンジャー事務局・・・事業の申請と調整、PPの作成
	当日	座学
	事後	アンケートの回収
参加者からの意見		<p>【教諭からの声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年におきた台風を思い出し改めて自然災害の怖さを感じた。 ・自助について考える機会になった。 ・生徒に地域の防災訓練に進んで参加することなど地域の一員であることの提案が良かった。 <p>【生徒からの声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害はいつでもどこで起こるのかわからないので日ごろから準備しておくことが大事だと思った。 ・災害が起きた時に備えて、いろいろな準備いるのだなと思った。 ・今日のことを、実際におきたときに役立てたいと思います。

活動状況



講師紹介



学習内容について説明



スライドを使った解説



過去に発生した高潮の状況を動画で学習

9. 大阪市立新北野中学校わがまち防災スクールP-2

・令和3年10月8日(金)

実施状況

活動名	大阪市立新北野中学校わがまち防災スクールP-2				
氏名	辻川 松子 (河川レンジャーアドバイザー)				
運営形態	主催				
活動日時	令和3年10月8日(金)				
実施場所					
参加対象	大阪市立新北野中学校1年生				
参加人数 および 団体名	参加総数	252名			
	参加者	212名	1年生6クラス		
	講師	—			
	スタッフ	9名	水害体験施設の設置・稼働・体験指導 (近畿設備 (株))		
	連携 団体 関係者	市民 団体 等	当日	20名	地域ボランティア、淀川区社会福祉協議会
			準備のみ	—	
		行政 機関	当日	—	
			準備のみ	—	
		学校 関係	当日	9名	校長先生、担当教諭
準備のみ			—		
淀川河川事務所	1名	管理課			
河川レンジャー事務局	1名				
スケジュール	8:50	開始 生徒集合、教諭より挨拶、プログラム説明、協力者の紹介等 ・5班に分かれて①水中歩行体験 ②水没ドア開閉体験 ③救出体験 ④車椅子体験、 ⑤アイマスク体験			
	12:10	講評			
	12:15	終了 当日実施した各種体験プログラムの内容は以下のとおりです。 (水中歩行体験) 道路が冠水した状況で杖を持って避難する体験 (水中 (泥水) の歩行体験) (水没ドア体験) ドアにかかる水圧を体験 (水深 20 cm (16kg) と 30 cm (36kg) を体験) (救出体験) 災害時の救助を想定し、仮設担架 (バスタオル、毛布等) で搬送する体験 (車椅子体験) 車椅子での移動、車椅子の介助を体験 (アイマスク体験) バリアフリー社会の実現に向けて、目が見えない状況での歩行とその介助を体験し、 どのような物事が、障がいとなるかを考える。			

配付資料	—	
関係機関からの支援内容	浸水歩行、浸水ドア体験施設(淀川河川事務所)、車椅子及び体験セット(淀川区社会福祉協議会)、アイマスク及び体験セット アルコール消毒液(学校・辻川RA・区社協) 除菌シート(学校、レンジャー事務局)、消毒用雑巾、ペーパータオル(辻川RA)	
河川レンジャーの活動内容	準備	レンジャー事務局・・・事業の申請及び協力依頼 新北野中学校・・・授業実施に係る日程・内容等の打ち合わせ。 河川事務所・・・施設管理者と施設設置に係る打ち合わせ及び下見 体験施設運営者・・・設営場所・撤去時間等の打ち合わせ。 区・社会福祉協議会・・・協力依頼並びに下見と行程説明。 校下ボランティア等・・・協力依頼並びに行程説明。 アンケートの作成、施設設営作業の立合い
	当日	総括
	事後	施設撤去作業の立合い
参加者からの意見	【教諭からの声】 <ul style="list-style-type: none"> ・毎年同じことを体験しているように見えるが、毎年繰り返すことで中学校内全体の空気感が生徒の「防災意識」を育てるように感じる。 【生徒からの声】 <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習をして目が見えない人や車いすに乗っている人の大変さが良くわかりました。そして、災害の危険性もわかりました。 ・水の怖さや目が見えない人の大変さ、レスキュー隊の大変さが分かった。 ・はじめは簡単だと思ったがやってみると全てすごくむずかしかった。全ての体験で災害の怖さを知った気がする。 	

活動状況



水中地歩行体験



車椅子体験



救助体験



アイマスク体験

○池宮河川レンジャーアドバイザー活動報告

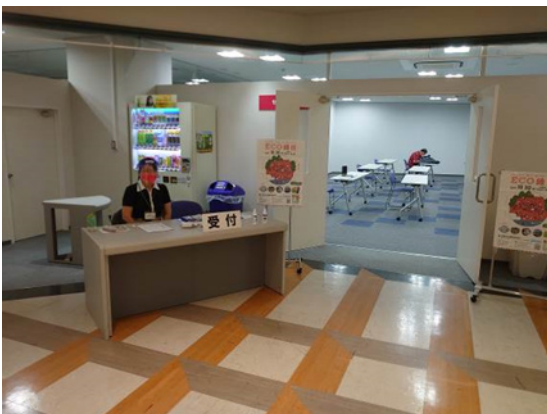
10. 大阪市環境局講座「淀川環境改善の取り組み」・令和3年10月9日(土)

実施状況

活動名	大阪市環境局講座「淀川環境改善の取り組み」			
氏名	池宮 實 (河川レンジャーアドバイザー)			
運営形態	協力 (一般財団法人 環境事業協会)			
活動日時	令和3年10月9日(土)			
実施場所	ATC エコグリーンプラザ セミナールーム			
参加対象	一般公募			
参加人数 および 団体名	参加総数	52名		
	参加者	47名	大人16名、オンライン聴講31名	
	講師	—		
	スタッフ	4名	環境事業協会	
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	—
			準備のみ	4名
		行政 機関	当日	—
			準備のみ	—
学校 関係	当日	—		
	準備のみ	—		
	淀川河川事務所	—		
	河川レンジャー事務局	1名		
スケジュール	13:50	事前説明 (WEB確認・コロナ対策・アンケート依頼等) 開催挨拶・講師紹介		
	14:00	講座開始		
	15:09	休憩		
	15:15	再開		
	15:40	説明終了 質疑応答 アンケート記入・回収		
	16:00	全体終了 片付け・解散		
配付資料	①淀川環境改善のとりくみ ②2021/10/9 時事問題講座④アンケート (用紙) ③大阪コロナ追跡システム (チラシ)			
関係機関からの 支援内容	河川レンジャー事務局 「美化アクションデータ」「発見・養成講座」チラシ			

河川レンジャーの活動内容	準備	講座資料 (P.P) の作成
	当日	作製した資料をレジユメに沿って講演用 PC から解説 (プロジェクタースクリーン・WEB)・質疑応答
	事後	終了後、関係者へ挨拶
参加者からの意見	<p>Q1. 出水後ゴミが多いが一斉清掃は年1回しか活動しないのか？ ⇒河川の中にはヘビ等危険があり2月～3月の冬季に一斉清掃しているが、個々のレンジャー活動でもフィールドが河川敷の場合は参加者に袋を渡して、目につくごみは回収、清掃することは実施している。集めたごみは後日河川事務所で回収している。 淀川の歴史の勉強ができた。ありがとうございます。(WEB)</p> <p>Q2. 一斉清掃の福島エリアはどこか？ ⇒右岸の西中島南方から塚本区間で実施、左岸は高速工事中のため現在、実施できず。</p> <p>Q3. 河川レンジャー活動への参加方法は？ ⇒河川レンジャー事務局 HP で情報発信しているので各々問い合わせを。</p> <p>Q4. 小さい川は親水性がなく活動しにくいが解決策は？ ⇒安全確保して流域全体の河川で清掃活動を行うことにより洪水時に淀川本川へ流入するゴミの量を減らせる。</p> <p>Q5. ゴミ拾いのアプリはどのように使うのか？ ⇒アプリを使い、どこでどのくらいゴミを集めたかを報告できる仕組み。 「ピリカ」アプリを活用して実施する場合は河川レンジャー事務局 HP を参照、実施する予定日の情報入手を。</p>	

活動状況



受付



講座会場



淀川の環境改善の取り組み解説



参加者の質疑応答

○亀井河川レンジャーアドバイザー活動報告

11. 大阪市立豊崎中学校防災訓練

・令和3年11月20日(土)

実施状況

活動名	大阪市立豊崎中学校防災訓練			
氏名	亀井 伸幸 (河川レンジャーアドバイザー)			
運営形態	共催			
活動日時	令和3年11月20日(土)			
実施場所	大阪市立豊崎中学校 校庭 			
参加対象	地域住民・学校・行政			
参加人数 および 団体名	参加総数	259名		
	参加者	175名	豊崎中学校生徒 175名	
	講師	—		
	スタッフ	—		
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日 29名	本庄地域 23名、北区防災サポーター 6名
			準備 のみ	—
		行政 機関	当日 15名	大阪市北区役所 6名、北消防署 9名
			準備 のみ	—
	学校 関係	当日 39名	豊崎中学校教諭 30名、大阪工業大学 9名	
		準備 のみ	—	
	淀川河川事務所	—		
	河川レンジャー事務局	1名		
スケジュール	8:30	開始 ・中学生登校(朝礼・学活)		
	8:40	・避難訓練(生徒を4班に別れ運動場に集合)		
	9:00	・北区長・宮里地区会長挨拶・訓練説明		
	9:20	① 訓練内容(三角巾等、ドローン飛行、ロープ結束、浸水歩行体験)に従い 生徒4班に分かれ順次体験訓練の開始		
		② 河川Rゾーンにおいては、亀井RAによる北区地域の災害の受けやすい特徴や、 浸水に伴う避難歩行の注意事項等の写真・図表を用いて解説		
	9:30	③ 水中歩行体験の実施(1回目)		
	9:50	上記②③の内容により約30分間隔で水中歩行体験実施(2回目)		
	10:20	上記②③の内容により約30分間隔で水中歩行体験実施(3回目)		
	10:50	上記②③の内容により約30分間隔で水中歩行体験実施(4回目)		
	11:20	・運動場に生徒の集合		
	11:25	・二口地区防災リーダー挨拶・学校長講評		
	11:40	・生徒終学・下校		
	12:00	終了(12:30 後片付け終了)		
配付資料	—			
関係機関からの 支援内容	本庄地域町会よりシューズカバー(生徒人数分)。豊崎中学校より、水道使用、電源使用、北区役所より、土嚢袋、シャベル、電源ドラムの貸与、本庄地域町会より運営スタッフ協力			

河川レンジャーの活動内容	準備	大阪市北区地域課との打ち合わせ、豊崎中学校、本庄地区連合会との会議（全3回）、下見、浸水体験器具の工作（修正）、その他物品準備、整理。レジュメ作成、雨天プログラムの講座用PPT作成。機資材の積み込み等
	当日	機資材の搬入、訓練コーナーの設営。全体打ち合わせ、準備、各4班への浸水地歩行体験訓練、北区周辺の水害についての解説。意見聞き取り、現場撤収。機資材搬出
	事後	機資材の整理、片付け、運搬、北区役所、本庄地区連合会との振り返り、まとめ
参加者からの意見	<p>[浸水地歩行を体験して]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濁った水の中に足を入れて進む（歩く）のは恐怖感がある。 ・想像以上に歩きにくい。傘や杖など長い棒のようなものの必要性がよくわかった。もっと深かったらまず無理。水深20cmを意識する意味がよくわかった。等 <p>[北区での水害について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の家が全部水に浸かるとは考えたこともなかった。 ・家が潰れたらどうするのか考えた。 ・浸水継続時間という言葉とその意味を知り情報の大切さ、事前を知っておくことの大切を感じた。 ・24時間～何日間も水に浸かっているのを知り、自分なら何ができるか考えさせられた。 ・内水氾濫は梅田など身近に起きていることを初めて知って驚いた。大阪市北区は4つの水害があること、水に浸かりやすく引きにくい等、恐ろしいことを知った。 ・水害は事前予測ができることを知った。水害や地震についてもっと勉強しようと思った。 ・日頃からやっていないことはいざという時にできないという言葉を重ねて感じた。 ・毎年お世話になりありがとうございます、一人での準備など本当にお忙しい中で訓練協力を頂きましてありがとうございます（地域、学校から労いと感謝をいただいています）。等 	

活動状況



避難訓練（地区別）



淀川における洪水被害状況等の説明



淀川における洪水被害状況等の説明



浸水歩行体験

○連携活動報告

12. ワークショップ（川の大切さを知ろう） ・ 令和3年10月23、24日（土、日）

実施状況

活動名	ワークショップ（川の大切さを知ろう）			
氏名	平井 裕三（福島出張所管内河川レンジャー） 伊藤 茂（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催			
活動日時	令和3年10月23、24日（土、日）			
実施場所				
参加対象	地域住民・行政			
参加人数 および 団体名	参加総数	33名		
	参加者	26名	10/23 大人7名、子ども11名 計18名	
			10/24 大人4名、子ども4名 計8名	
	講師	—		
	スタッフ	1名	10/23 桑村 R	
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	—
			準備のみ	—
		行政 機関	当日	4名
	準備のみ		—	
	学校 関係	当日	—	
準備のみ		—		
淀川河川事務所	—			
河川レンジャー事務局	2名	両日とも1名		
スケジュール	10/23	13:00	開始 ・平井 R による本日の活動内容の説明および河川における SDGS の取り組み紹介（ヨシ・プラゴミ等の話）	
		13:30	・ヨシ笛作り	
		17:00	終了	
	10/24	13:00	開始 ・伊藤 R による本日の活動内容の説明および河川における SDGS の取り組み紹介（ヨシ・プラゴミ等の話）	
13:30		・ヨシ笛作り		
17:00		終了		
配付資料	—			
関係機関からの 支援内容	—			

河川レンジ ヤーの活動 内容	準備	大阪市との打ち合わせ。ヨシ笛の準備、パネル等準備物の用意。
	当日	荷物の搬入。イベントの実施
	事後	荷物の搬出（2日目）
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・ヨシが固いこと知った。 ・ヨシが5mほどの高さになることを知った。 ・ヨシが川を浄化することを知った。

活動状況



平井 R による SDGS の紹介 (10/23)



ヨシ笛づくり (10/23)



伊藤 R による SDGS の紹介 (10/24)



ヨシ笛づくり (10/24)

13. 鳥飼ワンド外来植物駆除大作戦

・令和3年11月7日(日)

実施状況

活動名	鳥飼ワンド外来植物駆除大作戦			
氏名	杉本 真一 (高槻出張所管内河川レンジャー) 伊藤 茂 (毛馬出張所管内河川レンジャー) 酒井 信行 (河川レンジャーアドバイザー) 原 健二 (河川レンジャーアドバイザー)			
運営形態	共催			
活動日時	令和3年11月7日(日)			
実施場所				
参加対象	地域住民・団体(地域団体・行政・企業など)			
参加人数 および 団体名	参加総数	17名		
	参加者	—		
	講師	1名	河合氏 (淀川環境委員会 委員)	
	スタッフ	1名	東 RA	
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日 準備 のみ	4名 (株)建設技術研究所
		行政 機関	当日 準備 のみ	—
		学校 関係	当日 準備 のみ	7名 IVUSA 高槻クラブ
		淀川河川事務所	3名	河川環境課、高槻出張所、毛馬出張所
		河川レンジャー事務局	1名	
スケジュール	9:30	開始 (司会:杉本 R) スケジュール説明 移動しながら河川敷の植物観察 (河合氏による解説) ヨシ・オギ群落の観察、セイタカヨシとヨシの見分け方説明、クズの観察		
	9:45	開会 活動の趣旨説明 (酒井 RA) 高槻出張所長より挨拶 活動時の注意事項等説明 (杉本 R)		
	9:50	1号ワンドで駆除する外来植物と駆除作業について説明 (建設技術研究所) 駆除場所へ移動 (1号、3号)		
	10:00	外来植物の駆除開始 (全員): 植物をその場で土に埋める「淀川方式」の駆除を試行		

	11:20	水生生物調査（河合氏、建設技術研究所）3号ワンドで調査を実施 1号ワンド前広場で採取した生物の解説（河合氏） <採取した主な生物> 魚類：カダヤシ 二枚貝：イシガイ、淡水シジミ 巻貝：ヒメタニシ、チリメンカワニナ、ハベカワニナ 意見交換会（感想、今後の活動に向けて）
	11:40	終了
配付資料		運営企画書（事前のメール送付） 淀川本川に生息するカワニナ類、淀川の在来イネ科高茎草本（河合氏作成） 平面図（高槻出張所提供）
関係機関からの支援内容		物品支援、資料提供等（河合氏、建設技術研究所、淀川河川事務所（河川環境課、高槻出張所）、レンジャー事務局）
河川レンジャーの活動内容	準備	打合せ（10/16、11/1（WEB））、現地下見（10/31）、資料作成、資材借用（11/5）
	当日	受付、検温、健康調査票の確認・回収、司会進行、安全管理、物品の洗浄、動画撮影
	事後	報告書作成、動画作成
参加者からの意見		<p>【採取した水生生物、ワンドの環境に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3号ワンドからイシガイが採取できたことから、3号ワンドの環境はそれほど悪くないと言える。 ・フナやコイは春になると浅瀬で産卵する。3号ワンドは、フナやコイの産卵場として機能していると考えられるが、今回の調査ではフナの稚魚は見られなかった。ワンドはヘドロが堆積して水深が浅くなっているため、夏は水温が高くなることが予想され、魚にとっては生息しにくい環境になっていると考えられる。 ・ワンドの周辺は樹林化しており、枝や葉がワンドに落ちることで、ヘドロ化して堆積し、有機物が増えすぎて水質悪化につながる懸念される。外来植物の駆除以外に、手の届く範囲で枝打ちを行ってはどうか。また、木が茂ることでワンドに光が入らなくなるので、伐木等の対策も必要ではないか。 ・3号ワンドでは、マコモやサデクサの群落などが見られ、湿地環境としては良好といえるのではないか。 <p>【参加者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のような活動が川に関心をもつきっかけになればいいと思う。 ・活動に参加し、川の環境について知ることができた。活動に参加して、川に関心をもったし、今後も関心を持ち続けたい。 ・ワンドでは、板のようなものがあると、泥に足をとられることなく作業を行いやすいのではないか。 ・泥のなかで急に足が沈むところがあり、足を引き抜くのに苦労した。 ・陸に根を張り、水辺に侵入する外来植物は、根が残っているとそこから再繁茂するので、陸から掘り起こすなどの対策が効果的ではないか。 ・人手があると作業が一気に進むと感じた。まだ取り残しがあるので、今後も駆除を継続していくことが必要だ。 ・「淀川方式」は駆除した水草を運搬する手間が省けるので活動しやすい。 ・最寄りのバス停から近く、河川敷からワンドまでもそれほど遠くないので、アクセスの面では、一般の方々にも参加しやすいと思う。

活動状況



河川敷の植物観察



開会の挨拶



ワンドの生き物観察



外来植物の駆除作業